

# 世界の気候と文化プリント

名前

- 問1 熱帯の島々で見られる伝統的な住居は、木の支柱とやしの葉などを用いて作られ、床を高くし、壁をほとんど設けない構造になっています。このような住居の仕組みとなっている背景として、最も適切な説明はどれですか。(2026年 青森公立入試 類似)
- 年間を通じて気温と湿度が高いため、風を通しやすくして、熱や湿気がこもるのを防ぐため。
  - 季節による気温の変化が激しいため、外気の影響を直接受けにくいように通気性を調整するため。
  - 降水量が極めて少なく乾燥しているため、わずかな風を取り込んで室内の乾燥を防ぐため。
  - 冬の寒さが非常に厳しいため、床を高くすることで地面からの冷気が伝わるのを防ぐため。
- 問2 エチオピアなどの発展途上国における人口の構成を年齢別に示した資料において、0歳から4歳の層が最も大きな割合を占め、年齢層が上がるごとにその割合が急激に減少していく形状が見られる理由として、適切なものはどれか。(2022年 徳島公立入試 類似)
- 出生率が高いため子供の数が多く、若年層を含む死亡率も相対的に高いため。
  - 出生率が低下し始めた一方で、平均寿命が延びて高齢者の割合が増えたため。
  - 感染症の蔓延によって、特定の働き盛り世代の人口だけが極端に減少したため。
  - 教育の普及により、子供を産み育てる年齢層が都市部へ流出したため。
- 問3 北半球にある都市の気候統計において、気温が最も高くなる7月から8月にかけての月間降水量が20mmを下回るほど少なく、逆に気温が下がる12月から1月にかけて降水量が100mmを超えるような山型の気温変化と谷型の降水変化を示す気候区はどれですか。(2023年 岐阜公立入試 類似)
- 地中海性気候
  - 西岸海洋性気候
  - 温暖湿潤気候
  - ツンドラ気候
- 問4 アラビア半島に位置するサウジアラビアの宗教構成を示した統計において、信仰者の割合が90%以上という圧倒的な多数を占めている宗教は何か、次の中から選びなさい。(2021年 兵庫公立入試 類似)
- イスラム教
  - キリスト教
  - ヒンドゥー教
  - 仏教
- 問5 世界の農作物の生産と輸出に関する統計から読み取れる特徴について、適切な説明はどれですか。なお、対象とする作物の一方は「アメリカ合衆国が生産量の3割超、輸出量の約4割を占める作物」であり、もう一方は「中国が生産量1位だが、ロシアが輸出量1位である作物(小麦)」であるものとします。(2020年 三重公立入試 類似)
- 小麦は、自給的な性格が強い中国やインドでの生産が多いが、輸出はロシアや北米諸国が中心となっている。
  - とうもろこしは、アメリカ合衆国が生産・輸出ともに大きなシェアを持っており、主に主食としてアジアへ輸出される。
  - 小麦の輸出量でロシアが首位なのは、ロシアの生産量が中国やインドを大きく上回っているからである。
  - ブラジルは、小麦とうもろこしの両方において、世界最大の生産量と輸出量を誇っている。
- 問6 フランス北部のリールのような「西岸海洋性気候」に属する都市の気候統計に見られる特徴について、日本の東京と比較して説明したものとして最も適切なものはどれですか。(2024年 香川公立入試 類似)
- 東京に比べて夏の気温が低く、冬の冷え込みも緩やかであるため、気温の年較差が小さく、降水量は一年を通して平均的である。
  - 夏は乾燥して日照時間が長く、冬に降水量が集中するため、東京に比べて降水量の季節による変化が非常に大きい。
  - 季節風(モンスーン)の影響を強く受けるため、東京よりも夏と冬の気温差が大きく、降水量は夏に極端に集中する。
  - 年間を通して赤道低圧帯の影響を受けるため、東京よりも気温の年較差が小さく、毎日激しいスコールに見舞われる。
- 問7 日本列島付近の天気は、一般的に西から東へと移り変わる傾向があります。この理由として、日本が位置する中緯度帯の上空において、雲や気圧配置を西から東へ運ぶ役割を果たしている仕組みを何というか。(2026年 静岡公立入試 類似)
- モンスーン(季節風)の周期的な変化
  - 赤道付近から吹く貿易風による影響
  - 中緯度帯の上空を一年中吹く偏西風
  - 大陸から吹き出すシベリア高気圧の風
- 問8 西アジアから北アフリカを中心に、現在では世界各地で信仰されている宗教の特色について説明した文として、正しいものを次の中から選びなさい。(2026年 神奈川公立入試 類似)
- 聖地メッカを信仰の対象とし、豚肉を食べることを禁止するなどの戒律があるイスラム教
  - インドを中心に信仰され、特定の動物を神聖なものとして大切にしているヒンドゥー教
  - アメリカ合衆国においてスペイン語を話すヒスパニックの人々が多く信仰しているキリスト教
  - ロシアや東ヨーロッパなど、スラブ系民族の間で古くから信仰されている東方正教
- 問9 地形の成因に着目したとき、日本の三陸海岸南部や志摩半島に見られる「リアス海岸」と比較して、ノルウェーに見られる「フィヨルド」にのみ当てはまる背景はどれですか。(2021年 鹿児島県公立入試 類似)
- 過去の寒冷な時期に、巨大な氷の塊が地表を削り取ったこと。
  - 山地が沈水することで、もともとの尾根が半島になり谷が湾になったこと。
  - 石灰岩などの溶けやすい岩石が、長い年月をかけて水に溶かされたこと。
  - 河川が運んできた土砂が、河口付近の浅い海に堆積して平地を作ったこと。
- 問10 世界の温帯における気候のうち、ブエノスアイレスなどの地域に見られる「温暖湿潤気候」の説明として最も適切なものを選びなさい。(2023年 富山公立入試 類似)
- 四季の変化がはっきりしており、季節風などの影響を受けて一年を通じて降水量がある。
  - 夏は日差しが強く乾燥するが、冬に偏西風の影響を受けて一定の雨が降る。
  - 暖流と偏西風の影響により、高緯度のわりに冬は暖かく、夏は涼しい。
  - 一年中気温が高く、午後にはスコールと呼ばれる激しい雨が降る日が多い。
- 問11 ヨーロッパ北西部の高緯度地域が、同緯度の他の地域に比べて冬でも比較的温暖である理由として、大西洋を流れる暖流(北大西洋海流)の影響とともに挙げられる、海上の暖かな空気を陸地へ運んでくる風は何か。(2026年 静岡公立入試 類似)
- 南東方向から吹く季節風
  - 中緯度帯を吹く偏西風
  - 熱帯地方から吹く貿易風
  - 北極側から吹く冷たい極東風
- 問12 ブラジルのアマゾン川流域に位置する都市マナオスについて、一年を通じて月平均気温が27度から28度前後で推移し、季節による変化がほとんど見られない一方で、雨季には月間降水量が300mmを超えるような「年中高温多雨」となる気候区分を何といいいますか。(2015年 佐賀公立入試 類似)
- 熱帯雨林気候
  - サバナ気候
  - 地中海性気候
  - 温暖多雨気候

## 答え合わせ・解説

問1	答え 1 年間を通じて気温と湿度が高いため、風を通しやすくして、熱や湿気がこもるのを防ぐため。	住居の構造は、その地域の気候条件と密接に関係しています。熱帯地域では、激しい雨（スコール）や高い気温、高い湿度への対策が不可欠です。壁をなくして通気性を高めることで体感温度を下げ、高床式にすることで地面からの湿気や害虫の浸入を防ぐ工夫がなされています。これに対し、壁を厚くしたり窓を小さくしたりする工夫は、砂漠などの乾燥帯や、寒さの厳しい冷帯・寒帯の住居に見られる特徴です。
問2	答え 1 出生率が高いため子供の数が多いが、若年層を含む死亡率も相対的に高いため。	人口ピラミッドの底辺が広いのは出生率の高さを表し、上に行くほど幅が狭くなるのは、栄養状態や衛生環境の影響で死亡率が高いことを示しています。このような富士山型の形状は、多産多死の社会で顕著に見られる特徴です。
問3	答え 1 地中海性気候	気温が高い時期（夏）に降水量が極端に減少し、気温が低い時期（冬）に降水量が増えるという逆相関のパターンは、地中海性気候特有のもので、日本の大部分で見られる温暖湿潤気候は、夏に降水量が多くなるため、この統計データとは正反対の傾向を示します。
問4	答え 1 イスラム教	サウジアラビアはアラビア半島に位置し、国民のほとんどがイスラム教を信仰しています。この地はイスラム教の発祥地でもあり、国内には二大聖地であるメッカとメディナが存在します。そのため、宗教は単なる個人の信仰にとどまらず、国の法律や社会制度の基盤となっています。
問5	答え 1 小麦は、自給的な性格が強い中国やインドでの生産が多いが、輸出はロシアや北米諸国が中心となっている。	生産量と輸出量の統計が一致しないのは、その国における国内消費の規模が関わっているためです。中国やインドは人口が非常に多く、生産された小麦の多くが自国で消費されます。一方、ロシアやアメリカ、カナダは人口に対して生産量が極めて多いため、世界的な輸出拠点となっています。ちなみに、アメリカが生産・輸出ともに圧倒的なシェアを持つ作物は、主に飼料用として利用されるともろこしです。
問6	答え 1 東京に比べて夏の気温が低く、冬の冷え込みも緩やかであるため、気温の年較差が小さく、降水量は一年を通して平均的である。	西岸海洋性気候（Cfb）は、暖流と偏西風の影響により気温の変化が穏やかになるのが最大の特徴です。東京のような温暖湿潤気候と比較すると、夏の最高気温はそれほど上がらず、一方で冬は暖流の影響で極端な冷え込みが抑えられるため、気温を示す曲線は平坦になります。また、降水についても季節による大きな偏りが見られず、各月で均一な傾向を示します。
問7	答え 3 中緯度帯の上空を一年中吹く偏西風	日本は北半球の中緯度帯に位置しており、その上空には偏西風が常に西から東へと吹いています。この風が低気圧や高気圧、雲の塊などを西から東へと押し流すため、日本の天気は数日おきに西から順に変化していくという特徴を持ちます。
問8	答え 1 聖地メッカを信仰の対象とし、豚肉を食べることを禁止するなどの戒律があるイスラム教	イスラム教は、サウジアラビアにあるメッカを聖地とし、唯一神アッラーを信仰する宗教です。信者は生活上の規範として厳しい戒律を守っており、代表的なものに豚肉を食べてはいけないことや、一日に数回メッカの方向に向かって礼拝を行うことなどが挙げられます。選択肢にあるヒンドゥー教は主にインドで、ヒスパニックやスラブ系民族に関連する宗教はキリスト教の諸派としての特色が強いものです。
問9	答え 1 過去の寒冷な時期に、巨大な氷の塊が地表を削り取ったこと。	フィヨルドとリアス海岸は、どちらも複雑に入り組んだ海岸線（沈水海岸）である点は共通していますが、谷を作った原因が異なります。リアス海岸は主に「河川」による侵食でできた谷が沈んだものですが、フィヨルドは「氷河」によって削られた谷が沈んだものです。そのため、フィヨルドは氷河が発達した高緯度地域（北欧やチリ南部、南アルプス山脈のあるニュージーランドなど）に限定して見られます。
問10	答え 1 四季の変化がはっきりしており、季節風などの影響を受けて一年を通じて降水量がある。	温暖湿潤気候は、大陸の東側に分布することが多く、季節風の影響により年間を通して降水量があるのが特徴です。他の選択肢について、夏に乾燥するのは地中海性気候、偏西風の影響で気温の変化が穏やかなのは西岸海洋性気候、一年中気温が高くスコールが降るのは熱帯雨林気候の説明です。これらと比較して、夏と冬の気温差（年較差）が大きく、湿潤な状態が続くのが温暖湿潤気候の特性です。
問11	答え 2 中緯度帯を吹く偏西風	ヨーロッパの西側には、低緯度から暖かい水を運ぶ暖流の北大西洋海流が流れています。この暖流によって温められた海上の空気が、中緯度帯の上空を西から東へ吹く偏西風によって陸地側へ運ばれるため、ヨーロッパ北西部は高緯度であっても冬の寒さが和らぎ、西岸海洋性気候となります。
問12	答え 1 熱帯雨林気候	赤道付近は一年を通じて太陽放射が強いため、季節による気温の変化（年較差）が非常に小さく、常に高温となります。また、強い日射によって上昇気流が発生しやすく、スコールと呼ばれる激しい雨が頻繁に降るため、年間を通じて降水量が多くなるのが特徴です。